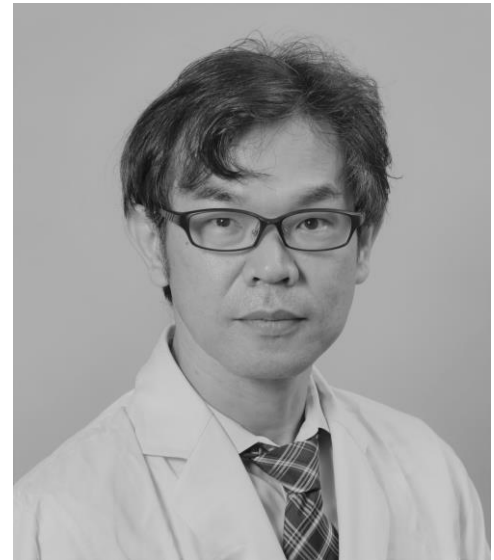


講師紹介

真栄里 仁 (まえさと ひとし)

1972年沖縄県出身。
 1996年群馬大学医学部卒業。
 沖縄県立中部病院、琉球大学医学部付属病院、沖縄県立宮古病院を経て、2003年に国立久里浜病院（現、独立行政法人久里浜医療センター）に着任し、現在、教育情報部長。男性・女性アルコール依存症病棟を担当している。
 専門領域はアルコール関連問題対策、アルコール依存症薬物療法、女性アルコール依存症など。精神保健指定医、日本アルコール関連問題学会評議員・編集委員、日本アルコール・アディクション医学会評議員、一般財団法人日本禁酒同盟前理事。



久里浜医療センターとは…

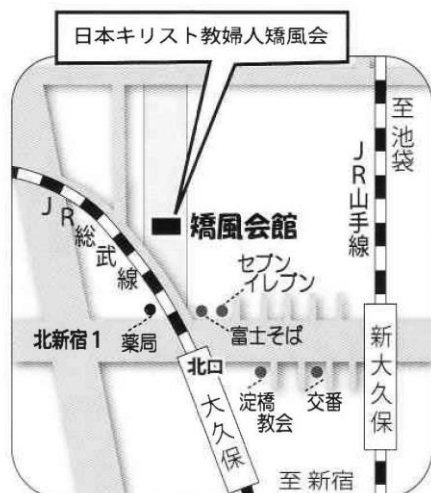
神奈川県横須賀市に位置し、1963年、管理的な治療が当たり前だった当時の依存症医療の中で、作家でもあったなだいなだ先生らの尽力により、開放・集団治療を柱とする患者さんの自主性を尊重する治療法を導入し、現在では「久里浜方式」として全国各地に広がっています。現在では4ヶ病棟でアルコール依存症の治療を行っており、それ以外にもオンラインゲーム依存症やギャンブル依存症などの治療も行っている依存症の専門病院です。また診療以外でも、1989年より世界保健機関（WHO）物質使用・嗜癮行動研究研修協力センターに、2017年には国の依存症対策全国センターに指定されるなど日本の依存症研究、研修、対策の中で中核的な役割を担っています。」

公益財団法人日本キリスト教婦人矯風会

米国の禁酒運動に端を発すが、女性の地位向上をめざす矯風会という名称で1886年に発足。創設期のメンバーは、禁酒同盟のあゆみに登場する者多数あり。2012年に公益移行後は、女性の人権と福祉を活動の柱として、女性と子どもが安全に生きられる社会の実現という視点で、アディクション問題にも取り組んでいる。DV女性のシェルターを都内某所で運営。東京都新宿区百人町2-23-5 電話03-3361-0934

一般財団法人日本禁酒同盟

日本禁酒同盟は、1887（明治20）年、東京・横浜の禁酒会の活動を母体として発足。一貫して酒害の啓発と予防教育に取り組み、アルコール依存症当事者たちの例会〈断酒修養会〉とも連携してきた。2012年に一般財団法人に移行。断酒修養会メンバーの体験談をまとめた『初の断酒会を拓き断酒修養会を営む』を発行（2016年）。武蔵野市に資料館を有す。東京都武蔵野市西久保1丁目8-2 電話0422-54-8555



JR大久保駅北口下車 徒歩2分。
 改札を出たら道路（大久保通り）を渡る。
 ドラッグストアと富士そばの間の細い道に入る。
 頭上にはJRのガードあり。
 約20メートル先の右手の
 クリーム色4階建ての建物が矯風会館。

JR新大久保駅からは徒歩5分。

※会場の都合上、濡れた傘は入り口にてお預かりいたします。
 ご了承ください。
 ※ご入場の際、検温と消毒、連絡先記入をお願いします。